

令和6年度 年間指導計画 1学年【数学科】	指導担当	坂元・湯本・村上
-----------------------	------	----------

月	単元・題材 指導目標 ( )は時数	観 点	評 価 材 料
4月 5月	<b>単元1 「正の数と負の数」(27)</b> ・正の数と負の数 ・加法と減法 ・乗法と除法 ・いろいろな計算  正の数と負の数について、具体的な場面での活動を通して理解し、その四則計算ができるようにする。 数の範囲を拡張して、計算の可能性をひろげ、数についての処理がいつそう手際よくできるようにする。	<b>観点1 知識・技能</b> 正負の数の意味や必要性を理解し、加法、減法及び乗法、除法の計算をすることができる。	・ペーパーテスト ・プリント
		<b>観点2 思考・判断・表現</b> 正の数と負の数を具体的な場面で利用し、問題解決をすることができる。	・ペーパーテスト ・プリント
		<b>観点3 主体的に学習に取り組む態度</b> 正負の数について、問題解決までの過程を振り返り、評価・改善することができる。	・授業観察(取り組みなど) ・振り返り
5月 6月	<b>単元2 「文字と式」(21)</b> ・文字と式 ・文字式の計算 ・文字式の利用  文字を用いて関係や法則を式に表現したり、式の意味を読み取ったりできるようにするとともに、文字を用いた式の計算ができるようにする。 文字を使って、数量や数量の関係などを簡潔、明瞭に表し説明することを通して、文字を用いることよさや必要性に気付くようにする。	<b>観点1 知識・技能</b> 文字を用いて式を立てることの必要性和意味を理解し、代入や文字式の計算をすることができる。	・ペーパーテスト ・プリント
		<b>観点2 思考・判断・表現</b> 文字式を具体的な場面で利用し、問題解決をすることができる。	・ペーパーテスト ・プリント
		<b>観点3 主体的に学習に取り組む態度</b> 文字式を利用した問題解決の過程を振り返り、評価・改善することができる。	・授業観察(取り組みなど) ・振り返り
7月 9月	<b>単元3 「一次方程式」(17)</b> ・一次方程式 ・一次方程式の利用  方程式について理解しそれを用いることができるようにする。 文字をふくむ等式から、文字の値を求める方法を理解し、これを用いることにより、問題が形式的、効率的に処理できることを説明させ、活用できるようにする。	<b>観点1 知識・技能</b> 方程式の必要性和意味を理解し、方程式を立てて解を求めることができる。	・ペーパーテスト ・プリント
		<b>観点2 思考・判断・表現</b> 一次方程式を具体的な場面で利用し、問題解決をすることができる。	・ペーパーテスト ・プリント
		<b>観点3 主体的に学習に取り組む態度</b> 一次方程式を利用した問題解決の過程を振り返り、評価・改善することができる。	・授業観察(取り組みなど) ・振り返り
10月 11月	<b>単元4 「比例と反比例」(21)</b> ・比例 ・反比例 ・比例と反比例の利用  具体的な事象の中にある2つの数量の変化や対応を調べることを通して、比例、反比例の関係を見だし、表現し、考察できるようにする。	<b>観点1 知識・技能</b> 関数の意味や必要性を理解し、比例、反比例の関係を、表、式、グラフで表現することができる。	・ペーパーテスト ・プリント
		<b>観点2 思考・判断・表現</b> 比例と反比例を、具体的な場面で利用することができる。	・ペーパーテスト ・プリント
		<b>観点3 主体的に学習に取り組む態度</b> 比例と反比例を利用した問題解決の過程を振り返り、評価・改善することができる。	・授業観察(取り組みなど) ・振り返り

11月 12月 1月	<b>単元5 「平面図形」(18)</b> ・平面図形 ・作図 ・円  平面図形についての理解を深めることができるようにするとともに、基本的な図形を見通しを持って作図できるようにする。いろいろな平面図形について、観察、操作、実験などの活動を通して、図形に対する直観的な見方や考え方を深め、基礎的な知識・技能を習得する。	<b>観点1 知識・技能</b> 3つの移動や平面図形の性質を理解し、見通しをもって作図や面積、周の長さを求めることができる。	・ペーパーテスト ・プリント
		<b>観点2 思考・判断・表現</b> 平面図形の性質を具体的な場面で利用することができる。	・ペーパーテスト ・プリント
		<b>観点3 主体的に学習に取り組む態度</b> 平面図形を利用した問題解決の過程を振り返り、評価・改善することができる。	・授業観察(取り組みなど) ・振り返り
1月 2月	<b>単元6 「空間図形」(22)</b> ・空間図形 ・立体の体積と表面積  図形を観察、操作や実験を通して考察し、空間図形についての理解を深めることができるようにする。観察、操作、実験などの活動を通して、空間図形に対する直観的な見方や考え方を深め、論理的に考察する能力や、立体の計量についての能力を高める。	<b>観点1 知識・技能</b> 多面体、角錐、円錐、球の意味を理解し、表面積や体積を求めることができる。	・ペーパーテスト ・プリント
		<b>観点2 思考・判断・表現</b> 空間図形の性質を具体的な場面で利用することができる。	・ペーパーテスト ・プリント
		<b>観点3 主体的に学習に取り組む態度</b> 空間図形を利用した問題解決の過程を振り返り、評価・改善することができる。	・授業観察(取り組みなど) ・振り返り
2月 3月	<b>単元7 「データの活用」(14)</b> ・データの整理とその活用 ・確率  目的に応じて資料を収集し、コンピュータ等を用いて表やグラフに整理し代表値や資料の散らばりに着目し、資料の傾向を読み取り、数の表現に関する理解を深める。	<b>観点1 知識・技能</b> ヒストグラムやデータを表やグラフに整理することの必要性や意味を理解し、値を整理することができる。	・ペーパーテスト ・プリント
		<b>観点2 思考・判断・表現</b> 集めた資料やデータを基に傾向を読み取り説明することができる。	・ペーパーテスト ・プリント
		<b>観点3 主体的に学習に取り組む態度</b> データの活用を利用した問題解決の過程を振り返り、評価・改善することができる。	・授業観察(取り組みなど) ・振り返り